

Title	三田商学研究第58巻自第1号至第6号総目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学出版会
Publication year	2016
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.58, No.6 (2016. 2) ,p.93- 94
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-20160200-0093

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田商学研究 第58巻 自第1号 至第6号 総目次

論 文

	号	頁
「会計史」の成立……………友岡 賛	1	1
雇用・賃金統計に見る先進各国共通な流れと日本の特異性……………樋口 美雄	1	15
減損会計再論(3)……………佐藤 一磨	1	37
企業研究とその方法(最終講義)……………笠井 昭次	2	1
わが国における経営学研究の1つの特徴……………渡部 直樹	2	9
企業経営における統合報告と統合報告書……………大平 浩二	2	21
自律的な学としてのナレッジマネジメントの可能性……………岡本 大輔	2	33
A. W. Shawの現代性とマーケティング論の根本問題……………榊原 研互	2	45
中小企業によるニッチ戦略に関するノート……………堀越 比呂志	2	55
シェアードサービス会社の売却の意思決定について……………高橋 美樹	2	67
ダイナミック・ケイパビリティと垂直的統合——取引コスト、 ケイパビリティ、そしてダイナミック・ケイパビリティ——……………園田 智昭	2	75
アジアにおける企業文化の比較研究に向けて ——対欧米とは異なった分類軸の必要性——……………菊澤 研宗	2	87
持続可能性・認知的ケイパビリティ・福島原発危機……………佐藤 和	2	99
組織の盛衰と環境適応障害要因に関する考察……………谷口 和弘	2	111
オープンソースソフトウェアと企業の関わり……………三橋 平	2	121
義務論の現代的再解釈——カント倫理学とアプリオリズムの可能性——……………神戸 和雄	2	129
日系多国籍企業のグローバル R&D ——在ヨーロッパ多国籍企業子会社の R&D 拠点の役割を中心に——……………梅津 光弘	2	141
デュアル・チャネルの選択に関する予備的検討……………井口 知栄	2	155
企業の競争戦略と垂直境界——取引コスト理論分析——……………高田 英亮	2	169
マニラ・ガレオン貿易における中国人の登場とその役割 ——フィリピンにおける中国系メスティーソの生成を中心に——……………橋本 倫明	2	179
日本の観光産業の戦略的提携に関する研究……………李 恵薫	2	199
——旅行業の事例研究を中心として——……………吳 美淑	2	213
ミャンマーにおける高等教育改革と大学への組織上のインプリケーション……………ティン・ウィン	2	219
私たちは日本から何を学べるか……………ニマル・ジャヤンタ・ナバラトネ	2	227
新制度派組織論の意義と課題……………涌田 幸宏	2	239
経済学的倫理学の方法論的基礎づけの試み ——「状況分析の方法」「合理性原理」の経済倫理・企業倫理における 可能性と限界——……………柴田 明	2	255
多国籍企業における持続的競争優位の構築 ——ダイナミック・ケイパビリティ論からのアプローチ——……………楊 錦華	2	275
進化論的組織論の可能性……………西谷 勢至子	2	289
——進化経済学における組織進化に関する議論の検討——……………永野 寛子	2	
「経営哲学」研究についての方法論的考察——批判的合理主義の観点から——……………永野 寛子	2	

経営学における21世紀型教育の課題	糟谷 崇	2・301
ティースの学説におけるルーティン概念の変遷	赤尾 充哉	2・309
産業進化による企業境界の変化と経営者の役割 ——消えゆく手仮説の批判的検討——	蜂巣 旭	2・319
6次産業化に対するケイパビリティ論的考察	大芝 周子	2・335
減損会計再論（4）	笠井 昭次	3・1
会計通史の展開	友岡 賛	3・19
非正規雇用の増加と所得格差：個人と世帯の視点から ——国際比較に見る日本の特徴——	石井 加代子 樋口 美雄	3・37
「会計士史」の展開——会計学の基本問題（6）——	友岡 賛	4・1
異質的期待が資産価格に与える影響	富田 信太郎 和田 賢治	4・19
産業内の株価予測可能性の実証研究	久保田 敬一 徳永 俊史	4・39
家父長型リーダーシップと成果に関する実証分析	佐藤 和妹 横田 絵理	4・51
単式簿記と複式簿記・再論——会計学の基本問題（7）——	友岡 賛	5・1
体制転換と金融システムの構造変化（I）——チェコスロバキアの場合——	赤川 元章	5・15
雇用制度の産業間比較——雇用制度の違いは存在するか？——	八代 充史	5・35
「利益」の意義——会計学の基本問題（8）——	友岡 賛	6・1
処理規約の規定要因（1） ——利益観・企業の経済活動の態様・計算方式を巡って——	笠井 昭次	6・17
女性の結婚・出産・就業の制約要因と諸対策の効果検証 ——家計パネル調査によるワーク・ライフ・バランス分析——	樋口 美雄 坂本 和靖 萩原 里紗	6・29
保険会計をめぐる議論の変遷 ——「資産負債アプローチからハイブリッドアプローチへ」に 代わる考え方による検討——	川崎 美有	6・59

資 料

研究開発に関する調査2014——8年間の変化傾向と単純集計の結果——	郷濱 岡	香野子 豊	1・57
セネガルにおけるモバイルコミュニケーション ——先行研究のサーベイとセネガル概観——	赤松 直樹 韓 貞烈 蒲 英 竹内 亮介	邱 騰箴 劉 蜀 末 野正 濱 岡 豊	1・83
製品開発に関する調査2014——8年間の変化傾向と単純集計の結果——	郷濱 岡	香野子 豊	3・57
小売商業に対する行政支援の実態に関するアンケート調査（都市編）の結果	高橋 郁夫		5・47

そ の 他

渡部直樹教授退任記念号の刊行にあたって	金子 隆	2・巻頭
渡部直樹教授略歴および主要研究業績		2・345